



必ず家に持ち帰り、保護者の方にも見せましょう！

小論文・志願書の準備について

期末テストもちろん大切ですが、進路実現に向けて、AO入試の対策も始めている、始めないとなあとと思っている人も増えてきたのではないのでしょうか。専門学校や大学入試では、「小論文」だけでなく、志願書に「志望理由」・「自己PR」・「高校時代熱心に取り組んだこと」など、長い作文が必要な場合があります。これらは何度も書き直しが必要になったり、思いのほか時間がかかったりすることがあります。また、先生たちは忙しいのです！「今すぐ見てくれ」などと要求してはいけません。締切から逆算して、遅くとも2週間前には次の《手順》を参考に行動を開始 しましょう！

《 書類準備の手順 》

- ① 記入する書類を自分でコピーする。
- ② コピーしたものに下書きをし、大人に添削をしてもらう。

担任または副担任の先生に添削をお願いする場合は、締め切りの2週間前には下書きを持って来ること！先生はあなたひとりのためにいつでも時間を作れるわけではありません。

- ③ 清書する。鉛筆で下書きをしてからペンで書く！
- ④ できあがった志願書は、コピーして手元に残す。
- ⑤ 証明写真はブレザー・ネクタイ着用できちんとしたものを！
- ⑥ 郵便局の窓口で「書留（記録が残る郵便）」で送る。ポスト不可！

真っ白な用紙持って来て「どうしよう…」とか「今日出さな間に合わん」とか
知らんかな！です。

ちゃんと自分で準備して書いて来ないと誰も責任とりませんよ！！

志望動機を書く時の「やさしいポイント」～ 超☆初心者編 ～

①大きく3段落に分けて書く。

第1段落：結論

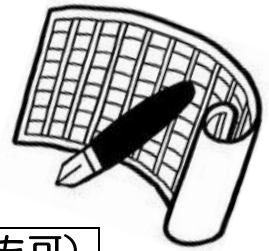
- ・テーマについて自分の意見（結論）を述べる。
（例）「私が貴校を志望した理由は～～です。」

第2段落：根拠・具体例（いくつかの段落に分けても可）

- ・第1段落で述べた結論について、根拠（なぜそう思うのか）、具体例（自分の体験など）を具体的に書こう。
（例）「私は高校3年間〇〇部に所属し、～～」

第3段落：結論・抱負

- ・第1段落で述べた結論にもう一度戻る。
（例）「以上のことから、私は〇〇について、～だと考える。」
- ・入学後、入社後の抱負などを付け加えてもよい。



②原稿用紙の使い方

- ・原稿用紙を買って練習しよう。（100均でも買えます）
- ・段落を分ける時は、改行し一文字下げる。
- ・「、」や「。」などの記号はぶら下げ（一番下のマスに入れる）。

③「～です」と「～だ・である」はどちらかに統一する。

④一文は短く切る！

- ・積極的に「。」で区切ること！
- ・だらだらと文をつなげると、文がねじれて読みにくい。

【 考查前・考查中の自習室 】

終礼後は、すべてのホームルーム教室を施設します。学校に残って試験勉強がしたい生徒は、自習室を利用してください。飲食・音楽・大声（歌声）は禁止です。

ルールを守ってしっかり勉強しましょう！

- 期間：考查1週間前～考查最終日
- 時間：16時50分まで
- 場所：展開2B（学年職員室のとなり）